基本理念

- ①神戸大学は、学術文化における地域社会の重要な担い手であることを自覚し、 この分野における地域社会のリーダーとして、組織的に地域(連携)活動を進める。
- ②神戸の持つ国際的港湾都市としての文化的な位置を高め、
- 地域から世界へ発信しうる地域連携事業を展開する。
- ③兵庫県の多様な地域社会に対応しながら、そこから地域社会の発展、
- 活性化につながる普遍的な課題を全国に発信する。
- ④県内の自治体や地域団体との持続的な連携の継続を進め、長期的な信頼関係を深める。
- ⑤地域連携の成果を活かし、関係自治体等に本学の教育研究フィールドを整備する。

本部の目的

- 自治体等と連携し本学が有する人的・物的資源を活用
- ●個性豊かな地域社会形成支援 ●地域課題の解決を図り、地域の発展に貢献

本部の業務

- ●魅力ある地域づくりへの協力 ●本学と自治体等との連携事業の推進
- ●本学の地域連携の組織的取組への支援 ●「地域連携推進連絡協議会」の運営
- ●地域との連携窓口として連絡・調整 ●ボランティア・社会貢献活動への支援

異分野共創型の地域連携事業の展開構想

- 多様な地域社会からなる「日本の縮図」兵庫県において 異分野共創型地域連携の全国モデルを形成する
- ●包括的な協定に基づく持続的な地域連携拠点の拡充を通して、 地域の担い手となる人材を育成
- ●国際的港湾都市・神戸市をはじめとする地方公共団体・企業・ 地域住民等との連携を通したグローカルな地域社会形成や、 阪神・淡路大震災以降の安心・安全、健康の課題に応える 異分野共創型の教育と研究を推進
- ◎指標:地域連携推進拠点・地域連携推進プログラム数

沿革

- 2003 年 1 月 文学部 (現人文学研究科) 地域連携センター設置
 - 6 月 医学部保健学科(現保健学研究科)地域連携センター設置 農学部(現農学研究科)地域連携センター設置
 - 10 月 地域連携推進室設置(4月設置要綱制定)
- 2005 年 12 月 神戸大学地域連携活動発表会開催(以降毎年開催)
- 2006 年 11 月 篠山フィールドステーション開設
- 2008 年 4 月 地域連携事業開始 (学内公募事業、教職員対象)
- 2008 年 4 月 学生地域アクションプラン開始(学内公募事業、学生<mark>対象)</mark>
- 2015 年 9 月 文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(000+)」採択」
- 2016 年 10 月 神戸大学・篠山市農村イノベーションラボ開設
- 2017 年 10 月 地域志向科目「ひょうご神戸学」「地域社会形成基礎論」開講
- 2018 年 6 月 東播磨フィールドステーション開設
 - 9 月 産官学連携アイデアソン開始
- 2020 年 3 月 「地域づくりの基礎知識」シリーズ全5冊刊行
- 2021 年 10 月 地域連携推進本部設置
- 2022 年 4 月 国際文化学研究科地域連携センター設置 海事科学研究科地域連携センター設置

神戸大学地域連携推進本部

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-

TEL:078-803-5391 FAX:078-803-5389

ksui-chiiki@office.kobe-u.ac.jp











地域連携推進本部長 奥村 弘

令和3年10月に、本学の地域連携の機能強化を目的として、 従前の地域連携推進室は地域連携推進本部に改組されました。 地域連携推進本部は、地域をフィールドとして、地域の課題解決に資する教育研究と、 それを実践する活動に取り組んでいる教員や学生を支援し、 大学の持つ「知」を地域社会に還元することを目指しています。 今後はボランティア支援を含めたより幅広い活動に積極的に取り組んでいきます。 本学の地域連携活動について、地域の皆様、関係者の皆様から今後ともご支援、 ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



